

令和 7 年度 泉大津急性期メディカルセンター事業報告書

概 要

総括事項

1) 診療の状況

令和 7 年度の入院患者数は 102,619 人（1 日平均 281.2 人）。病床稼働率は 93.7%。

手術件数は月平均 345 件、全身麻酔件数が月平均 229 件で、入院診療単価は、92,820 円であった。

外来患者数は 131,148 人（1 日平均 447.9 人）。紹介患者数は月平均 1,855 件。救急搬送件数は月平均 550 件、外来診療単価 28,066 円。開院より入院・外来患者数は順調に増加しており、患者数増加に比例して入院・外来収益も増額となっている。

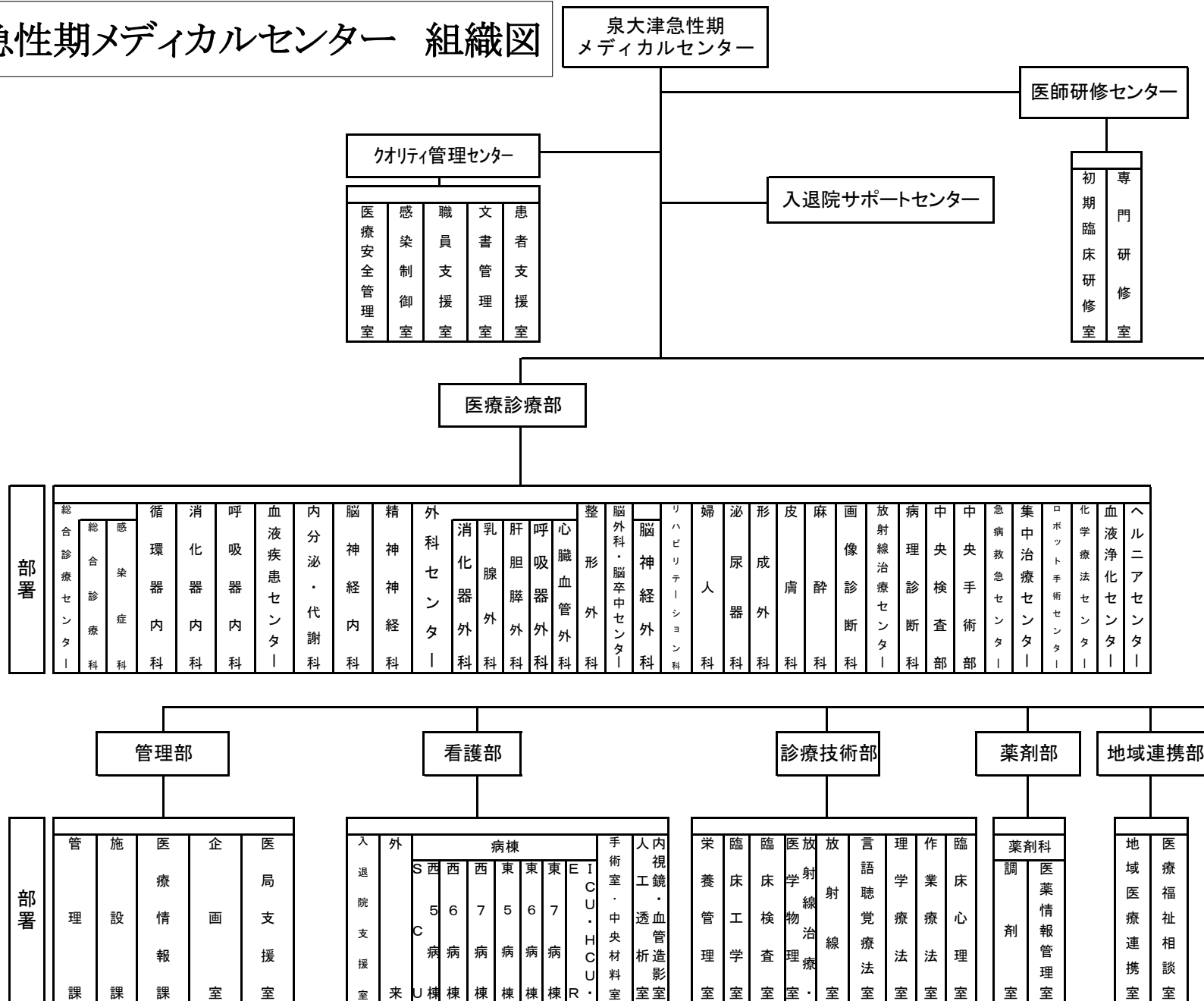
2) 主な診療指定および施設認定

- 二次救急告示病院
- 基幹型臨床研修病院
- 大阪府がん診療拠点病院
- 地域医療支援病院
- 特定行為研修指定研修機関
- DPC 対象病院（特定病院群）
- 日本医療機能評価機構認定病院
- 卒後臨床研修評価機構認定病院など

3) 主な高度医療機器

- 手術支援ロボット da Vinci Xi（ダビンチ Xi）
- 高精度放射線治療装置 True Beam
- 定位放射線治療装置 CyberKnife
- 磁気共鳴断層撮影装置（MRI 3.0）PHILIPS 社製
- 磁気共鳴断層撮影装置（MRI 3.0）SIEMENS 社製
- ハイブリット手術用血管撮影装置など

泉大津急性期メディカルセンター 組織図



施設基準取得状況

1 基本診療料

抗菌薬適正使用体制加算 医療 DX 推進体制整備加算 一般病棟入院基本料
総合入院体制加算 3 救急医療管理加算 超急性期脳卒中加算
診療録管理体制加算 1 医師事務作業補助体制加算 1 急性期看護補助体制加算
看護職員夜間配置加算 療養環境加算 重症者等療養環境特別加算
無菌治療室管理加算 1 無菌治療室管理加算 2 緩和ケア診療加算
栄養サポートチーム加算 医療安全対策加算 1 感染対策向上加算 1
患者サポート体制充実加算 重症患者初期支援充実加算 報告書管理体制加算
褥瘡ハイリスク患者ケア加算 呼吸ケアチーム加算 術後疼痛管理チーム加算
後発医薬品使用体制加算 1 病棟薬剤業務実施加算 1 病棟薬剤業務実施加算 2
データ提出加算 入退院支援加算 認知症ケア加算 せん妄ハイリスク患者ケア加算
精神疾患診療体制加算 地域医療体制確保加算 特定集中治療室管理料 3
ハイケアユニット入院医療管理料 1 短期滞在手術等基本料 1

2 特掲診療料

外来栄養食事指導料の注 2 に規定する基準
心臓ペースメーカー指導管理料の注 5 に規定する遠隔モニタリング加算
糖尿病合併症管理料
がん性疼痛緩和指導管理料 がん患者指導管理料イ がん患者指導管理料ロ
がん患者指導管理料ハ がん患者指導管理料ニ
外来緩和ケア管理料
移植後患者指導管理料（造血幹細胞移植後） 婦人科特定疾患治療管理料
二次性骨折予防継続管理料 1 二次性骨折予防継続管理料 3
下肢創傷処置管理料 院内トリアージ実施料
夜間休日救急搬送医学管理料の注 3 に規定する救急搬送看護体制加算
外来放射線照射診療料 外来腫瘍化学療法診療料 1 連携充実加算
療養・就労両立支援指導料の注 3 に規定する相談支援加算 開放型病院共同指導料
がん治療連携計画策定料 肝炎インターフェロン治療計画料 薬剤管理指導料
プログラム医療機器等指導管理料
地域連携診療計画加算 医療機器安全管理料 1 医療機器安全管理料 2
救急患者連携搬送料 在宅療養後方支援病院 在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
遺伝学的検査の注 1 に規定する施設基準 骨髓微小残存病変量測定
B R C A 1 / 2 遺伝子検査 検体検査管理加算（Ⅰ） 検体検査管理加算（Ⅳ）

H P V 核酸検出及びH P V 核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）
 ウイルス・細菌核酸多項目同時検出（S A R S - C o V - 2 核酸検出を含まないもの）
 ウイルス・細菌核酸多項目同時検出（髄液）
 心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
 時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト ヘッドアップティルト試験
 神経学的検査 前立腺針生検法（M R I 撮影及び超音波検査融合画像によるもの）
 画像診断管理加算 2 C T 撮影及びM R I 撮影 冠動脈C T 撮影加算
 心臓M R I 撮影加算 乳房M R I 撮影加算 抗悪性腫瘍剤処方管理加算
 外来化学療法加算 1 無菌製剤処理料 心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）
 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ） 運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
 呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ） がん患者リハビリテーション料
 エタノールの局所注入（副甲状腺）
 人工腎臓 透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
 組織拡張器による再建手術（乳房（再建手術）の場合に限る。）
 四肢・軀幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算
 後縦靱帯骨化症手術（前方進入によるもの） 椎間板内酵素注入療法
 緊急穿頭血腫除去術 内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術
 脳血栓回収療法連携加算 脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術
 脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
 癒着性脊髄くも膜炎手術（脊髄くも膜剥離操作を行うもの）
 乳癌センチネルリンパ節加算 1 及びセンチネルリンパ節生検（併用）
 乳癌センチネルリンパ節加算 2 及びセンチネルリンパ節生検（単独）
 乳腺悪性腫瘍手術（乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴わないもの）及び乳輪温存乳
 房切除術（腋窩郭清を伴うもの））
 ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）
 乳腺悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法
 食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖
 術、胃瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、小腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、結腸瘻閉
 鎖術（内視鏡によるもの）、腎（腎盂）腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、尿管腸瘻閉
 鎖術（内視鏡によるもの）、膀胱腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、腔腸瘻閉鎖術（内
 視鏡によるもの）
 経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの） 胸腔鏡下弁形成術
 胸腔鏡下弁置換術 不整脈手術 左心耳閉鎖術（胸腔鏡下によるもの）
 経皮的中隔心筋焼灼術 ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
 ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術（リードレスペースメーカー）
 両心室ペースメーカー移植術（経静脈電極の場合）及び両心室ペースメーカー交換術

(経静脈電極の場合)

植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極抜去術

両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)

大動脈バルーンパンピング法(IABP法) 腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈) 腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)

骨盤内悪性腫瘍及び腹腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法

腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)

腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))

腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))

腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))

腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)

胆管悪性腫瘍手術(臍頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)

体外衝撃波胆石破碎術 腹腔鏡下肝切除術 体外衝撃波臍石破碎術

腹腔鏡下臍腫瘍摘出術 腹腔鏡下臍体尾部腫瘍切除術

早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術 体外衝撃波腎・尿管結石破碎術

腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)

腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

人工尿道括約筋植込・置換術 精巣内精子採取術

腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)

腹腔鏡下仙骨腔固定術 腹腔鏡下仙骨腔固定手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)

腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)

腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術 医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
周術期栄養管理実施加算

輸血管理料Ⅰ 輸血適正使用加算 貯血式自己血輸血管理体制加算
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算 胃瘻造設時嚥下機能評価加算
麻酔管理料(Ⅰ) 麻酔管理料(Ⅱ) 周術期薬剤管理加算 放射線治療専任加算
外来放射線治療加算 高エネルギー放射線治療 1回線量増加加算
強度変調放射線治療(ⅠMRT) 画像誘導放射線治療(ⅠGRT)
体外照射呼吸性移動対策加算 定位放射線治療 定位放射線治療呼吸性移動対策加算
保険医療機関間の連携による病理診断 病理診断管理加算2
悪性腫瘍病理組織標本加算 看護職員処遇改善評価料56
外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅰ) 入院ベースアップ評価料60

3 その他

入院食事療養(Ⅰ)・入院時生活療養(Ⅰ)
酸素の購入単価

職員数

2026年3月31日現在

職種	常勤	非常勤		合計	
医師	100		(25.3)		(125.3)
保健師	9	0	(0)	9	(9)
助産師	0	0	(0)	0	(0)
看護師	323	33	(23.9)	356	(346.9)
准看護師	1	3	(2.4)	4	(3.4)
看護助手	13	12	(8.1)	25	(21.1)
ケアワーカー	7	2	(1.5)	9	(8.5)
薬剤師	25	0	(0)	25	(25)
放射線技師	31	1	(1)	32	(32)
臨床検査技師	32	3	(2.9)	35	(34.9)
管理栄養士	7	0	(0)	7	(7)
理学療法士	9	1	(1)	10	(10)
作業療法士	3	0	(0)	3	(3)
言語聴覚士	4	0	(0)	4	(4)
臨床工学技士	17	0	(0)	17	(17)
臨床心理士	2	0	(0)	2	(2)
臨床スピリチュアルケア・カウンセラー	0	1	(0.3)	1	(0.3)
医学物理士	1	0	(0)	1	(1)
ソーシャルワーカー	6	0	(0)	6	(6)
事務員	79	60	(47.7)	139	(126.7)
合計	669	116	(114.1)	685	(783.1)

※括弧内は常勤換算値

診療実績

自 2025年4月1日 至 2026年3月31日

(1) 科別入院診療実績

診療科	1日入院患者数(人)	新入院数(人)	平均在院日数(日)
総合診療センター	0.7	23	9.3
消化器内科	40.0	1,748	7.5
循環器内科	37.5	1,431	8.6
呼吸器内科	19.2	648	10.0
血液疾患センター	30.2	551	19.1
内分泌内科	4.1	106	12.4
脳神経内科	2.8	65	14.4
外科センター	34.2	1,116	10.0
乳腺外科	2.9	149	6.0
呼吸器外科	2.6	84	10.2
整形外科	30.5	800	12.8
婦人科	8.4	555	4.5
急病救急センター	0.0	5	1.0
泌尿器科	17.8	994	5.5
形成外科	2.4	139	5.2
脳外科・脳卒中センター	37.7	745	17.4
心臓血管外科	7.4	110	22.5
皮膚科	2.8	72	13.0
合 計	281.2	9,341	10.0

(2) 科別外来診療実績

診療科	1日外来患者数(人)	紹介件数(件)
総合診療センター	9.0	819
消化器内科	66.2	7,205
循環器内科	48.4	2,444
呼吸器内科	13.3	783
血液疾患センター	26.8	387
内分泌内科	5.6	199
脳神経内科	7.1	167
内科	9.9	98
外科センター	43.3	766
乳腺外科	11.8	407
呼吸器外科	2.1	43
整形外科	34.7	1,601
婦人科	31.2	823
急病救急センター	4.8	139
泌尿器科	42.5	858
形成外科	8.9	401
脳外科・脳卒中センター	22.1	701
心臓血管外科	3.3	167
皮膚科	24.3	506
放射線科	12.2	3,639
放射線治療科	20.5	112
精神科	0.0	0
合 計	447.9	22,265

損益計算書

自 2025年4月1日 至 2026年3月31日

泉大津急性期メディカルセンター

(単位：千円)

項 目		金 額
医業収益	入院診療収益	9,525,138
	外来診療収益	3,680,811
	その他医業収益	379,960
	保険等査定減	△ 67,123
	医業収益計	13,518,786
医業費用	材料費	4,968,678
	給与費	6,044,077
	委託費	728,407
	設備関係費	1,509,867
	研究研修費	31,489
	その他医業費用	823,554
	医業費用計	14,106,072
医業損益		△ 587,286
医業外損益	医業外収益	342,657
	医業外費用	40,189
経常損益		△ 284,818
臨時損益	臨時収益	8,086
	臨時費用	0
純損益		△ 276,732